

岩見沢市

## 緑の相談コーナーだより

N O . 3 1 5 2 0 1 1 . 9 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木 “クコ”（枸杞） ～強壮薬としてつとに名高い樹木～

ナス科の落葉低木で、日本、朝鮮、台湾、中国など東南アジアに分布し、本道では南部にあるとされますが、栽培品種の野生化したものか定かではありません。原野や路傍などに自生し、茎は細く叢生するので、大きな雑草のようにも見えますが、高さが1~2mになる樹木です。株が大きくなると、若枝は長く伸び、垂れ下がります。若芽は枝の先に固まって出て、夏には釣り鐘状をした淡紫色の小さな花を咲かせます。果実は橢円形の液果で、秋に熟すと美しい鮮紅色となります。

繁殖は極めて容易で、種子を播くか野生のものを落葉時に切り取って挿し木すると根付きます。また、古くから体の弱い人の強壮薬として用いられ、特別の肥培管理の必要もなく、よく繁茂する植物なので植えておけば便利な樹木です。中国では民家によく植えられており、杜甫の詩にも「漢家山東二百州、千村万落荊杞を生ず」とあるように、現在多くの庭先に見られるようです。日本でも、蕪村の句に「くこ垣の似たるに迷う都人」とあることから、昔は相当この生け垣が多かったようです。

ヨーロッパでは、この木が中国から移入された時、茶と共にに入ったことから、クコを茶の木と誤称されて今日に至っています。

なお、アメリカには1840年に生け垣用の樹木として入っています。

植物名の由来は、漢名「枸杞」の音読みとされていますが、一説に「クコは食う木」の約言との説があり、幼芽を摘んでクコ飯とすることに由来するとも言われます。

用途は果実が美しいので、盆栽や生け垣に用いますが、なんといっても食用と薬用でしょう。若芽は浸しものとしたり、枸杞飯として食べます。そのほかゴマあえなどにすることもあります。薬用としては、茎、葉、実それぞれに薬効があるといわれ、とくに、その果実を



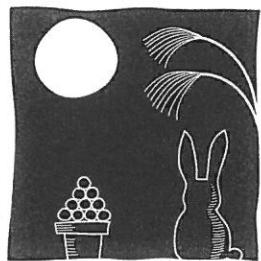
Lycium chinense MILLER  
クコ

漬け込んだ酒「枸杞酒」は、強壮剤として有名です。これを飲めば元氣がでるというので一時ブームになり注目されました。果実を乾燥させたのが枸杞子で、酒や焼酎に漬けたものが枸杞酒です。これらは、体の弱い人の強壮薬として昔から愛用されてきました。また、陰干しにした葉を焙じた「枸杞香煎(枸杞茶)」も滋養強壮茶として知られています。根の皮を乾燥したものは、「直骨皮」といい、漢方では結核や糖尿病の治療、消炎、解熱に使用されます。

枸杞の芽やけふ薄着せし妻の胸  
枸杞飯やわれに養生訓はなく

細川加賀

育 邦



## バラ園



## 公園だより

今年の夏は、初夏には雨の日が多く、その後は干天と猛暑が続いたこともあり、花の日持ちが短かかったり、花色や香りに少々物足りなさを感じていた方が多かったのではと推察しております。この間、今年度のバラ園リニューアル作業は順調に進んできました。9月のバラ園は、一番花の時の魅力とは異なる、秋バラの季節を迎えます。昼夜の温度差が大きくなるため、この季節のバラは、色・香り・姿とともに、気品と哀愁に満ちて、見る人の心を<sup>とりこ</sup>します。今月のバラの花もぜひ観賞して頂きますようご案内いたします。

♥ 今月のバラ園からの一口メモは、秋のバラの病害虫対策についてです。この時期になると再びウドンコ病が多発してきます。毎日注意深く観察し、予防と早期防除に努めましょう。バラにとって最も恐ろしい病害虫は、黒点病（黒星病）とハダニ、そしてカミキリムシでしょうか？黒点病やハダニでは、バラの葉を失い生育不良になります。カミキリムシは、幼虫が幹の内部を食い荒し、バラを枯死させることができます。特に、長雨や台風のあとなどには黒点病の発生に注意が必要です。無農薬栽培は理想ですが、現実には大変難しいことです。薬剤散布による正しい知識を養って、病虫害防除に努めることが大切かと思います。薬剤散布は、無風の曇りの早朝に行いましょう。夏の日中などに行うと、高温と日光で葉に薬害を生じことがあります。また、これから季節は、風雨による枝折れ対策も大事な仕事になります。

室内公園色彩館では、ブッシュタイプのモダンローズが咲いているほか、マンデビラの花が見頃です。メキシコからアルゼンチンにかけて分布するマンデビラの花は、基部が筒状で花冠は漏斗状となり先端が5裂したエキゾチックな花です。

南国温室では、パパイヤやパキラ、三尺バナナ、レモンの実が色づき始めました。ここではパキラの実が稔るのは初めてです。パキラは熱帯アメリカ原産の高木で、種子を包む果肉が食用になります。楽しみですね！

# 相談日記

**問** 庭にプルーンを植えて5年になります。昨年から果実も収穫できるようになりました。喜んでいました。今年は春先に、たくさん堆肥を施し、果実の熟すのを待っていました。ところが、8月に果実が色づいてきたら、急に果実が腐って、小さな黒点型の病斑ができ、これが瞬く間に広がり、2~3日後には表面に茎1mmぐらいの粉状の白色塊が吹き出てきました。このため、果実はほとんど食べることができません。これは何が原因なのでしょうか?また、どのように対処すれば良いか治療法や対策などがあれば知りたいのですが。

**答** 発病した果実が、灰白色、粉状の分生胞子におおわれていることから、スマモのハイボシ病と思われます。この菌の越冬は、樹上で行われる場合と、地上の病果が菌核となり、翌年の伝染源となる場合があります。樹上の越冬菌は、春の暖雨のあとに花腐れや幼果腐れをおこします。地上の菌核で越冬した場合は、翌春その上に子のう盤をつくって、これから子のう胞子が飛散し、成熟期を迎える頃には、病菌密度がしだいに高まり、夏に降雨が続いたりすると、成熟果に腐敗型の典型的なハイボシ病があらわれます。

**発生しやすい条件** この病気は花ぐされ、熟果の被害とともに降雨の多い時は多発する傾向があります。とくに成熟期に降雨が続き、裂果すると激しく発生します。密植や多チツソの栽培が行われた場合も発病が多くなります。

**防除のポイント** 剪定時に風通しをよくし、枝の重なりを避けるよう工夫しましょう。また、樹上の病果や枯れ枝は残らず取り除き、発病果も早期に取り除きます。薬剤防除としては、トップジンM水和剤、ベンレート水和剤などの殺菌剤がすぐれた効果を示しますが、適期の予防散布が必要です。開花70~80%頃や結実後の曇天続きの時などは2~3回散布しましょう。

## スマモの病気



黒色の斑点を生じ、のちにこの部分に亀裂が入る.....コクハン病

## 果実の病害



灰褐色の大型の病斑ができ、アワ粒状の灰色の胞子嚢を生ずる.....ハイボシ病



紫褐色の大型の病斑を生ずる。輪状の斑紋ができることがある.....ヒヤケ病

## クールな花姿が魅力的～クロユリ 花言葉 秘められた恋



ユリ科バイモ属の耐寒性球根の多年草で、北海道、本州中北部から千島、カムチャッカ、アラスカなどに分布します。ユリに似た、黒っぽい花をうつむきかげんに咲かせことからこの名前がありますが、ユリではなくバイモの仲間です。

夏でも涼しい地方での栽培が最適で、北海道では平地でも栽培できます。暑さに弱いため、夏は涼しく、風通しの良い場所に置きましょう。球根を植える場合、小さな鱗片が多くついているので、外れないように丁寧に扱い、排水のよい環境に植えます。山草好きの人が好んで育てますが、この花にまつわる伝説は多く、アイヌの恋物語では、好きな相手にこの花を渡すと必ず結ばれると言われます。また、佐々成政が、淀君に献上したところ、北政所の怒りを買って御家断絶となつた「呪いの花」との言い伝えもあります。花にも体にもそれに相応しい、なまめかしさとすごみのある高山植物です。栽培用土は、硬質鹿沼土5%、軽石砂5などを配合したものを使用します。

## 9～10月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣ バラの押し花作り I

日時 9月 4日（日） 13：00～15：00

講師 押し花アーティスト 宇田川静子さん 定員 30人 材料代 I・II



#### ♣ バラの押し花作り II

合わせて 2,600円

日時 9月 11日（日） 13：00～15：00

講師 押し花アーティスト 宇田川静子さん 定員 30人

#### ♣ 楽しいキノコの見分け方

日時 9月 25日（日） 13：00～15：00

講師 北海道自然保護協会 伊達 佐重さん 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ 収穫野菜の加工・貯蔵

日時 10月 9日（日） 13：00～15：00

講師 (有)アグリカルチャーひろし 北村 博さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで